

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成27年1月8日(2015.1.8)

【公開番号】特開2013-103103(P2013-103103A)

【公開日】平成25年5月30日(2013.5.30)

【年通号数】公開・登録公報2013-027

【出願番号】特願2011-251139(P2011-251139)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 3 4

【手続補正書】

【提出日】平成26年11月17日(2014.11.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技の主な制御を行う主制御手段と、その主制御手段からのコマンドに基づいて遊技を制御する従制御手段と、その従制御手段からの指示に基づいて演出を行う演出実行手段と、を備えた遊技機において、

前記主制御手段は、

遊技者に所定の遊技価値を付与するための抽選を行う主側抽選手段と、

その主側抽選手段による抽選結果に応じて抽選結果コマンドを少なくとも生成するコマンド生成手段と、

そのコマンド生成手段によって生成された抽選結果コマンドを従制御手段へ送信するコマンド送信手段と、を有し、

前記従制御手段は、

前記コマンド送信手段から送信された抽選結果コマンドに基づいて前記主側抽選手段による抽選結果を判別する判別手段と、

その判別手段によって、前記抽選結果が第 1 抽選結果であると判別された場合に、遊技者にとって有利になる遊技の進行を示唆する遊技動作示唆演出を実行し得る示唆期間を設定するかを抽選する従側抽選手段と、

その従側抽選手段によって示唆期間を設定するとの抽選結果が得られた場合に、前記示唆期間を設定し、その示唆期間にて遊技者に対して遊技の進行を示唆する遊技動作示唆演出を所定条件の成立に基づいて前記演出実行手段に行わせる示唆実行手段と、を有しており、

前記主制御手段のコマンド生成手段は、

前記抽選結果コマンドのうち少なくとも前記第 1 抽選結果と対応する第 1 抽選結果コマンドを、前記主側抽選手段の抽選結果が前記第 1 抽選結果となった場合に、所定の変換方法によって変換して第 1 抽選変換コマンドを生成する変換手段と、

その変換手段によって使用される変換方法を決定する変換方法決定手段とを有し、

前記従制御手段の判別手段は、

前記第 1 抽選変換コマンドを受信した場合に、その第 1 抽選変換コマンドを前記第 1 抽選結果コマンドに復元するために使用される復元方法を決定する復元方法決定手段と、

前記第 1 抽選変換コマンドが前記従制御手段によって受信された場合に、その第 1 抽選

変換コマンドを、前記復元方法決定手段により決定された復元方法によって第1抽選結果コマンドに復元する復元手段とを有し、

前記主制御手段のコマンド送信手段から送信された抽選結果コマンドを、前記復元手段によって復元したコマンドが前記第1抽選結果コマンドとなった場合に、前記抽選結果が第1抽選結果であると判別するものであり、

前記主制御手段のコマンド生成手段に設けられた変換手段は、少なくとも、

前記第1抽選結果コマンドを変換して第1の第1抽選変換コマンドを生成する第1変換方法と、

前記第1抽選結果コマンドを変換して、前記第1の第1抽選変換コマンドとは異なる第2の第1抽選変換コマンドを生成する第2変換方法とを使用可能に構成され、

その第2変換方法は、前記第1抽選結果コマンドとは異なる他のコマンドのうちいずれかのコマンドを変換した場合には、前記第1の第1抽選変換コマンドと同一のコマンドを生成することを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

この目的を達成するために請求項1記載の遊技機は、遊技の主な制御を行う主制御手段と、その主制御手段からのコマンドに基づいて遊技を制御する従制御手段と、その従制御手段からの指示に基づいて演出を行う演出実行手段と、を備え、前記主制御手段は、遊技者に所定の遊技価値を付与するための抽選を行う主側抽選手段と、その主側抽選手段による抽選結果に応じて抽選結果コマンドを少なくとも生成するコマンド生成手段と、そのコマンド生成手段によって生成された抽選結果コマンドを従制御手段へ送信するコマンド送信手段と、を有し、前記従制御手段は、前記コマンド送信手段から送信された抽選結果コマンドに基づいて前記主側抽選手段による抽選結果を判別する判別手段と、その判別手段によって、前記抽選結果が第1抽選結果であると判別された場合に、遊技者にとって有利になる遊技の進行を示唆する遊技動作示唆演出を実行し得る示唆期間を設定するかを抽選する従側抽選手段と、その従側抽選手段によって示唆期間を設定するとの抽選結果が得られた場合に、前記示唆期間を設定し、その示唆期間にて遊技者に対して遊技の進行を示唆する遊技動作示唆演出を所定条件の成立に基づいて前記演出実行手段に行わせる示唆実行手段と、を有しており、前記主制御手段のコマンド生成手段は、前記抽選結果コマンドのうち少なくとも前記第1抽選結果と対応する第1抽選結果コマンドを、前記主側抽選手段の抽選結果が前記第1抽選結果となった場合に、所定の変換方法によって変換して第1抽選変換コマンドを生成する変換手段と、その変換手段によって使用される変換方法を決定する変換方法決定手段とを有し、前記従制御手段の判別手段は、前記第1抽選変換コマンドを受信した場合に、その第1抽選変換コマンドを前記第1抽選結果コマンドに復元するために使用される復元方法を決定する復元方法決定手段と、前記第1抽選変換コマンドが前記従制御手段によって受信された場合に、その第1抽選変換コマンドを、前記復元方法決定手段により決定された復元方法によって第1抽選結果コマンドに復元する復元手段とを有し、前記主制御手段のコマンド送信手段から送信された抽選結果コマンドを、前記復元手段によって復元したコマンドが前記第1抽選結果コマンドとなった場合に、前記抽選結果が第1抽選結果であると判別するものであり、前記主制御手段のコマンド生成手段に設けられた変換手段は、少なくとも、前記第1抽選結果コマンドを変換して第1の第1抽選変換コマンドを生成する第1変換方法と、前記第1抽選結果コマンドを変換して、前記第1の第1抽選変換コマンドとは異なる第2の第1抽選変換コマンドを生成する第2変換方法とを使用可能に構成され、その第2変換方法は、前記第1抽選結果コマンドとは異なる他のコマンドのうちいずれかのコマンドを変換した場合には、前記第1の第1抽選変換

コマンドと同一のコマンドを生成する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

また、請求項 1 によれば、主制御手段の変換手段は、第 1 変換方法と第 2 変換方法とを使用可能に構成されており、変換方法決定手段によって第 1 変換方法の使用が決定された場合は、変換手段は、第 1 抽選結果コマンドを変換して第 1 の第 1 抽選変換コマンドを生成し、変換方法決定手段によって第 2 変換方法の使用が決定された場合は、変換手段は、第 1 抽選結果コマンドを変換して、第 1 の第 1 抽選変換コマンドとは異なる第 2 の第 1 抽選変換コマンドを生成する。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

よって、第 1 の第 1 抽選変換コマンドを従制御手段へ送信して、示唆期間の設定抽選を不正に行わせるような「ぶら下げ基板」等があったとしても、変換方法決定手段によって第 2 変換方法の使用が決定された場合には、従制御手段は、第 1 の第 1 抽選変換コマンドを受信し、そのコマンドを復元手段によって復元しても、第 1 抽選結果コマンドにはならないので、示唆期間の設定抽選を行うことはない。従って、「ぶら下げ基板」等の不正をより好適に抑制できるという効果がある。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 2 2

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 1 0】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 2 3

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 1 1】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 2 4

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 1 2】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 5 4 7

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 5 4 7】

遊技機 A, B 1 ~ B 3, C, D, E, F のいずれかにおいて、前記遊技機はパチンコ遊技機とスロットマシンとを融合させたものであることを特徴とする遊技機 G 3。中でも、融合させた遊技機の基本構成としては、「複数の識別情報からなる識別情報列を動的表示した後に識別情報を確定表示する可変表示手段を備え、始動用操作手段（例えば操作レバー）の操作に起因して識別情報の変動が開始され、停止用操作手段（例えばストップボタン）の操作に起因して、或いは、所定時間経過することにより、識別情報の動的表示が停止され、その停止時の確定識別情報が特定識別情報であることを必要条件として、遊技者に有利な特別遊技状態を発生させる特別遊技状態発生手段とを備え、遊技媒体として球を使用すると共に、前記識別情報の動的表示の開始に際しては所定数の球を必要とし、特別遊技状態の発生に際しては多くの球が払い出されるように構成されている遊技機」となる。

< その他 >

パチンコ機やスロットマシン等の遊技機においては、液晶表示装置等の表示手段等に様々な演出画像を表示させ、遊技の興趣向上を図っている。

この遊技機には、主制御装置（主制御手段）とサブ制御装置（従制御手段）とによって遊技を制御するものがある（例えば、特許文献 1：特開 2 0 1 0 - 2 1 3 8 3 5）。このような遊技機では、例えば、主制御装置では、遊技価値を付与するための抽選等の遊技の主な制御を行い、払出制御装置や音声ランプ制御装置等のサブ制御装置では、主制御装置から送信されたコマンドに基づき、表示手段における表示などの制御を行う。

上記に例示した遊技機のサブ制御装置には、主制御装置から送信されたコマンドに基づいて所定条件が成立した場合に、遊技者に遊技の進行を示唆する遊技動作示唆を液晶表示装置等に表示等させるように構成されたものがある。この遊技動作示唆は、液晶表示装置等に表示等される示唆通りの遊技が、遊技者によって行われた場合に、その遊技の結果として、所定の利益が遊技者に付与されることになる演出である。

ところが最近、「ぶら下げ基板」と呼ばれる不正な基板を使用した不正行為が報告されている。この不正行為は、主制御装置とサブ制御装置との間に、不正な基板をぶら下げて（不正な「ぶら下げ基板」を取り付けて）、不正な遊技動作示唆を行わせるものである。具体的には、主制御装置からサブ制御装置へ送信され、所定条件が成立する契機となるコマンドを不正に生成する回路を「ぶら下げ基板」内に設け、そのコマンドを「ぶら下げ基板」から、サブ制御装置へ出力して、サブ制御装置に不正な遊技動作示唆を行わせるというものである。遊技場などでは、この「ぶら下げ基板」を用いた不正行為により、多大な

被害を被っているという問題点があった。

本技術的思想は、上記例示した問題点を解決するためになされたものであり、「ぶら下げ基板」等を用いた不正行為を抑制できる遊技機を提供することを目的としている。

< 手段 >

この目的を達成するために技術的思想 1 記載の遊技機は、遊技の主な制御を行う主制御手段と、その主制御手段からのコマンドに基づいて遊技を制御する従制御手段と、その従制御手段からの指示に基づいて演出を行う演出実行手段と、を備え、前記主制御手段は、遊技者に所定の遊技価値を付与するための抽選を行う主側抽選手段と、その主側抽選手段による抽選結果に応じて抽選結果コマンドを少なくとも生成するコマンド生成手段と、そのコマンド生成手段によって生成された抽選結果コマンドを従制御手段へ送信するコマンド送信手段と、を有し、前記従制御手段は、前記コマンド送信手段から送信された抽選結果コマンドに基づいて前記主側抽選手段による抽選結果を判別する判別手段と、その判別手段によって、前記抽選結果が第 1 抽選結果であると判別された場合に、遊技者にとって有利になる遊技の進行を示唆する遊技動作示唆演出を実行し得る示唆期間を設定するかを抽選する従側抽選手段と、その従側抽選手段によって示唆期間を設定するとの抽選結果が得られた場合に、前記示唆期間を設定し、その示唆期間にて遊技者に対して遊技の進行を示唆する遊技動作示唆演出を所定条件の成立に基づいて前記演出実行手段に行わせる示唆実行手段と、を有しており、前記主制御手段のコマンド生成手段は、前記抽選結果コマンドのうち少なくとも前記第 1 抽選結果と対応する第 1 抽選結果コマンドを、前記主側抽選手段の抽選結果が前記第 1 抽選結果となった場合に、所定の変換方法によって変換して第 1 抽選変換コマンドを生成する変換手段と、その変換手段によって使用される変換方法を決定する変換方法決定手段とを有し、前記従制御手段の判別手段は、前記第 1 抽選変換コマンドを受信した場合に、その第 1 抽選変換コマンドを前記第 1 抽選結果コマンドに復元するために使用される復元方法を決定する復元方法決定手段と、前記第 1 抽選変換コマンドが前記従制御手段によって受信された場合に、その第 1 抽選変換コマンドを、前記復元方法決定手段により決定された復元方法によって第 1 抽選結果コマンドに復元する復元手段とを有し、前記主制御手段のコマンド送信手段から送信された抽選結果コマンドを、前記復元手段によって復元したコマンドが前記第 1 抽選結果コマンドとなった場合に、前記抽選結果が第 1 抽選結果であると判別する。

技術的思想 2 記載の遊技機は、技術的思想 1 記載の遊技機において、前記主制御手段のコマンド生成手段に設けられた変換手段は、少なくとも、前記第 1 抽選結果コマンドを変換して第 1 の第 1 抽選変換コマンドを生成する第 1 変換方法と、前記第 1 抽選結果コマンドを変換して、前記第 1 の第 1 抽選変換コマンドとは異なる第 2 の第 1 抽選変換コマンドを生成する第 2 変換方法とを使用可能に構成され、その第 2 変換方法は、前記第 1 抽選結果コマンドとは異なる他のコマンドのうちいずれかのコマンドを変換した場合には、前記第 1 の第 1 抽選変換コマンドと同一のコマンドを生成する。

技術的思想 3 記載の遊技機は、技術的思想 1 又は 2 記載の遊技機において、前記主制御手段のコマンド生成手段に設けられた変換手段は、少なくとも、前記第 1 抽選結果コマンドを変換して第 1 の第 1 抽選変換コマンドを生成する第 1 変換方法と、前記第 1 抽選結果コマンドを変換して、前記第 1 の第 1 抽選変換コマンドとは異なる第 3 の第 1 抽選変換コマンドを生成する第 3 変換方法とを使用可能に構成され、その第 3 変換方法は、前記第 1 抽選結果コマンドまたは第 1 抽選結果コマンドとは異なる他のいずれのコマンドを変換した場合にも、前記第 1 の第 1 抽選変換コマンドと同一のコマンドを不生成に構成され、前記従制御手段の判別手段は、前記復元方法決定手段によって、前記第 3 変換方法で変換された第 3 の第 1 抽選変換コマンドを第 1 抽選結果コマンドに復元可能な復元方法が決定された場合に、前記従制御手段によって受信されたコマンドを前記決定された復元方法で復元したコマンドが、前記第 1 の第 1 抽選変換コマンドと同一のコマンドであるかを判別可能に構成され、前記従制御手段は、前記決定された復元方法で復元したコマンドが前記第 1 の第 1 抽選変換コマンドと同一のコマンドであると、前記判別手段によって判別された場合に報知を行う報知手段を有している。

< 効果 >

技術的思想 1 記載の遊技機によれば、次の効果を奏する。即ち、主制御手段の主側抽選手段によって、遊技者に所定の遊技価値を付与するための抽選が行われ、その抽選結果に応じた抽選結果コマンドが、コマンド生成手段によって生成される。コマンド生成手段によって生成された抽選結果コマンドは、主制御手段のコマンド送信手段によって従制御手段へ送信される。従制御手段が抽選結果コマンドを受信すると、その受信した抽選結果コマンドに基づいて、判別手段により、主側抽選手段の抽選結果が判別される。判別手段によって、主側抽選手段の抽選結果が第 1 抽選結果であると判別された場合、従制御手段の従側抽選手段により、遊技動作示唆演出を実行し得る示唆期間を設定するかが抽選される。従側抽選手段によって、示唆期間を設定するとの抽選結果が得られると、従制御手段の示唆実行手段によって、示唆期間が設定される。示唆実行手段は、示唆期間において、遊技動作示唆演出を所定条件の成立に基づいて演出実行手段に実行させる。

ここで、主制御手段と従制御手段との間にいわゆる「ぶら下げ基板」等を取り付け、「ぶら下げ基板」等が従制御手段へ、第 1 抽選結果と対応する第 1 抽選結果コマンドを出力することにより、従制御手段の従側抽選手段に示唆期間の設定抽選を不正に行わせて、遊技者に有利となる遊技の進行が示唆される示唆期間を、従制御手段の示唆実行手段に不正に設定させる不正行為がある。

これに対し、主側抽選手段による抽選結果が第 1 抽選結果である場合、主制御手段のコマンド生成手段が有する変換手段は、第 1 抽選結果と対応する第 1 抽選結果コマンドを、変換方法決定手段によって決定された変換方法によって変換し、第 1 抽選変換コマンドを生成する。生成された第 1 抽選変換コマンドは、主制御手段のコマンド送信手段によって従制御手段へ送信される。

従制御手段の判別手段では、第 1 抽選変換コマンドを、第 1 抽選結果コマンドに復元するための復元方法が、復元方法決定手段によって決定される。第 1 抽選変換コマンドが従制御手段によって受信された場合、従制御手段の判別手段が有する復元手段は、その第 1 抽選変換コマンドを、復元方法決定手段により決定された復元方法によって第 1 抽選結果コマンドに復元する。

判別手段は、主制御手段のコマンド送信手段から送信された抽選結果コマンドを、復元手段によって復元したコマンドに基づいて、主側抽選手段による抽選結果を判別する。即ち、復元手段によって復元したコマンドが第 1 抽選結果コマンドとなった場合に、抽選結果が第 1 抽選結果であると判別し、従側抽選手段によって、示唆期間の抽選が行われる。

このように、主制御手段から従制御手段へ送信され、従制御手段の従側抽選手段が示唆期間の抽選を行う契機となるコマンドは、第 1 抽選結果コマンドを変換した第 1 抽選変換コマンドであるので、「ぶら下げ基板」等が従制御手段へ、不正な第 1 抽選結果コマンドを出力したとしても、従制御手段の従側抽選手段では、示唆期間の抽選が行われない。即ち、「ぶら下げ基板」等から出力された第 1 抽選結果コマンドは、従制御手段の復元手段によって復元され、第 1 抽選結果コマンドにはならないからである。従って、従制御手段の従側抽選手段に示唆期間の抽選を不正に行わせる不正行為を抑制できるという効果がある。

技術的思想 2 記載の遊技機によれば、技術的思想 1 記載の遊技機の奏する効果に加え、次の効果を奏する。さて、「ぶら下げ基板」等が技術的思想 1 の技術に対応した場合を想定する。「ぶら下げ基板」等は、従制御手段の従側抽選手段に示唆期間の設定抽選を不正に行わせるために、第 1 抽選結果と対応する第 1 抽選結果コマンドを変換した、第 1 抽選変換コマンドを従制御手段へ出力する。すると、第 1 抽選変換コマンドは、従制御手段によって第 1 抽選結果コマンドに復元され、従側抽選手段によって示唆期間の設定抽選が不正に行われてしまう。

しかし技術的思想 2 によれば、主制御手段の変換手段は、第 1 変換方法と第 2 変換方法とを使用可能に構成されており、変換方法決定手段によって第 1 変換方法の使用が決定された場合は、変換手段は、第 1 抽選結果コマンドを変換して第 1 の第 1 抽選変換コマンドを生成し、変換方法決定手段によって第 2 変換方法の使用が決定された場合は、変換手段

は、第 1 抽選結果コマンドを変換して、第 1 の第 1 抽選変換コマンドとは異なる第 2 の第 1 抽選変換コマンドを生成する。

よって、「ぶら下げ基板」等が、技術的思想 1 の技術に対応して、第 1 の第 1 抽選変換コマンドを従制御手段へ送信して、示唆期間の設定抽選を不正に行わせようとしても、変換方法決定手段によって第 2 変換方法の使用が決定された場合には、従制御手段は、第 1 の第 1 抽選変換コマンドを受信し、そのコマンドを復元手段によって復元しても、第 1 抽選結果コマンドにはならないので、示唆期間の設定抽選を行うことはない。従って、技術的思想 1 の技術に対応した「ぶら下げ基板」等の不正をも抑制できるという効果がある。

しかも、第 2 変換方法は、第 1 抽選結果コマンドとは異なる他のコマンドのうちいずれかのコマンドを変換した場合には、第 1 の第 1 抽選変換コマンドと同一のコマンドを生成する。よって、「ぶら下げ基板」等が第 1 の第 1 抽選変換コマンドを従制御手段へ不正に出力し続けると、第 1 抽選結果コマンドとは異なる他のコマンドによる動作が従制御手段で繰り返される。第 2 変換方法が使用されている場合に、従制御手段が第 1 の第 1 抽選変換コマンドを復元すると、そのコマンドは第 1 抽選結果コマンドとは異なる他のコマンドに復元されるからである。かかる繰り返し動作は、遊技機では本来生じ得ない異常動作となる。従って、「ぶら下げ基板」等による不正行為を露見し易くできるという効果がある。

技術的思想 3 記載の遊技機によれば、技術的思想 1 又は 2 記載の遊技機の奏する効果に加え、次の効果を奏する。技術的思想 2 の場合と同様に、「ぶら下げ基板」等が技術的思想 1 の技術に対応した場合を想定すると、「ぶら下げ基板」等から不正に出力される第 1 抽選変換コマンドによって、従側抽選手段によって示唆期間の設定抽選が不正に行われてしまう。

しかし技術的思想 3 によれば、主制御手段の変換手段は、第 1 変換方法と第 3 変換方法とを使用可能に構成されており、変換方法決定手段によって第 1 変換方法の使用が決定された場合は、変換手段は、第 1 抽選結果コマンドを変換して第 1 の第 1 抽選変換コマンドを生成し、変換方法決定手段によって第 3 変換方法の使用が決定された場合は、変換手段は、第 1 抽選結果コマンドを変換して、第 1 の第 1 抽選変換コマンドとは異なる第 3 の第 1 抽選変換コマンドを生成する。

よって、「ぶら下げ基板」等が、技術的思想 1 の技術に対応して、第 1 の第 1 抽選変換コマンドを従制御手段へ送信して、示唆期間の設定抽選を不正に行わせようとしても、変換方法決定手段によって第 3 変換方法の使用が決定された場合には、従制御手段は、第 1 の第 1 抽選変換コマンドを受信し、そのコマンドを復元手段によって復元しても、第 1 抽選結果コマンドにはならないので、示唆期間の設定抽選を行うことはない。従って、技術的思想 1 の技術に対応した「ぶら下げ基板」等の不正をも抑制できるという効果がある。

しかも、第 3 変換方法は、第 1 抽選結果コマンドまたは第 1 抽選結果コマンドとは異なる他のいずれのコマンドを変換した場合にも、第 1 の第 1 抽選変換コマンドと同一のコマンドが生成されないように構成されている。従制御手段は、復元方法決定手段によって、第 3 変換方法で変換された第 3 の第 1 抽選変換コマンドを第 1 抽選結果コマンドに復元可能な復元方法が決定された場合に、受信されたコマンドを復元したコマンドが、第 1 の第 1 抽選変換コマンドと同一のコマンドであるかを判別手段によって判別し、その結果、同一のコマンドであると判別された場合には、報知手段によって報知を行う。よって、かかる場合に「ぶら下げ基板」等が第 1 の第 1 抽選変換コマンドを従制御手段へ不正に出力すると、報知手段によって報知が行われるので、「ぶら下げ基板」等による不正行為を早期に発見できるという効果がある。